

東京新聞シヨツパー
平成20年11月6日(木)

ものづくりを総合的に支援します

～技能・技術の習得からレベルアップまで～

雇用・能力開発機構埼玉センター



「当センターの存在をより多くの人に知ってもらい、自己の能力を有効に発揮していただきたい」と上笹統括所長

“生きた実践訓練”は企業も注目

景気低迷のあおりを受けて、相変わらず低い就業率の一方で、企業の求める人材確保が難しいといわれる昨今、雇用・能力開発機構埼玉センターは、働く人が能力を発揮できるようさまざまな支援活動を行っています。中でも求職者を対象とした職業訓練は、雇用のセーフティネットとして重要な役割を發揮。また、ものづくりを中心とした在職者向けのセミナーは、現場で使える“生きた実践訓練”として企業からも注目されています。その積極的な取り組みを取材しました。

独立行政法人雇用 練を行っています。そのほか、能力開発機構埼玉 企業に在職する人を対象に、センターは国が運営 機械加工、溶接、電気電子分する公共職業訓練 野などのものづくり職種に限定として、求職者向 定して年間約1200コースの10種類の職業訓 もの講座を開催。埼玉労働



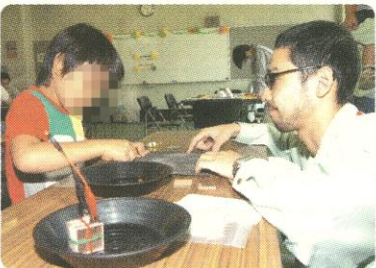
溶接施工も実習でしっかりと習得

はじめ、定年退職者の再雇用、若者の未就職など雇用に関する問題は山積しています。特にフリーターやニートなどの若年者、母子家庭の母、子育てを終了した女性など就職困難な人々に対する施策は急を要します。また、自社内では中核となる人材の育成が困難な中小企業のびとつりに対する援助も欠かせません。当センターでは「ものづくり」を基本に情報提供から職業訓練を通して、一人ひとりが能力を發揮できるよう丁寧に指導しています」と話す統括所長の上笹さん。

技能・技術の習得だけではなく、履歴書の書き方から面接の受け方などの就職支援、また就職後のさまざまな相談も受け付け。求職者を対象とした職業訓練で6カ月間基礎からしっかりと技術を身に付けた受講生の就職率は高く、企業の即戦力として活躍する人も多数。同所でも、ものづくりの楽しさを発見したフリーターが起業家として成功した例も挙がっています。教科書、作業服は自己負担ですが授業料は無料。入所月に併せた説明会があり、来年1月には4月生を募集。ミニ体験、施設見学は随時受け付けています。

技能祭は盛況のうち終了

さまざまな催しで、ものづくりを体験



ポルタ電池づくりにチャレンジ!

秋晴れの10月18日、同センターで「ふれあい技能祭」の「ものづくり」体験教室「My Little」は、「ものづくり」が開催されました。さまざまな催しを通して「ものづくり」を身近に感じてもらいたい」と、今日の体験教室や金



銅版で「世界に一つしかない」ホルダーを手作り



原山小学校の金管バンド演奏も

ちはプラモデルも作ったフリーマーケット、金管バンドがない、という子が多ンド演奏も行われ、家族連れ、ものづくりへの興味を、わけてもらっていました。

(独)雇用・能力開発機構埼玉センター

ポリテクセンター埼玉=さいたま市緑区原山2の18の8

☎048・882・4079

http://www.ehdo.go.jp/saitama ミニ体験、見学は随時。

★詳細はホームページで。仕事応援サイトも必見!

- 求職サービス
- 溶接溶接科
- 機械加工科
- ピラネスワーク科
- 電子制御システム科
- 電子制御科
- 組立システム開発科
- 生産管理技術科
- マシントラックシステム科
- Webアプリケーション開発科
- 情報システムサービス科
- 在職サービス
- 機械系、電気系、電子系の能力開発セミナーなど多数。